

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 088	提案機関名 自然環境保全センター
要望問題 ツキノワグマの生息環境マップの作成と活用方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ツキノワグマは、県内で絶滅が危惧される希少動物であると同時に、人身被害や農林業被害の危険もある野生動物である。このようなツキノワグマと共存していくためには、山間部に健全な生息環境があると同時に、集落周辺には誘引的環境がない状態を実現する必要がある。 しかし、現在、山間部では、ニホンジカによる採食や過去の森林整備による除伐等の影響で生息環境のポテンシャルが低下する一方で、集落周辺では、果樹園や耕作地の放置、利用されなくなった里山の藪化等が進み、ツキノワグマにとって非常に利用しやすい環境となっている可能性がある。 このような状況を、ツキノワグマの保全及び人里出没対策に関わる関係者が連携して改善していくためには、山間部及び集落周辺の生息環境の状況を、既存情報や現地調査等によって可視化して生息環境マップを作成し、関係者間で共有していく必要がある。 そこで、現在機関で進められていると取組から得られる情報を一元的に取りまとめる生息環境マップの作成と活用方法の検討を、農業普及、鳥獣被害対策、野生動物保護管理、森林管理等の事業を担当する各事業課と連携し、市町村等の協力も得ながら行うことを要望する。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 自然環境保全センターの研究部門では野生動物の生息環境の課題として、森林整備とニホンジカの生息環境について、野生生物課や森林整備部門と継続して研究を進めてきました。 今回、クマの里地への出没事例が増えた要因を解明する取組みとして、生息環境の可視化したマップの作成が提案されており、行政が行う地域の環境管理の視点で、クマその他野生動物の出没、移動等の情報を整理してGISの手法を用いたマップを作成することは意義あることと考えます 調査データは、GISを用いて解析していますので、果樹等の作付け状況や耕作放棄地の分布状況などの里側の情報が入手できれば、既存のGISを活用し里側の誘引要因と山側の生息環境に関する解析について引き続き連携を図りながら進めていきたいと考えています。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			